

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2017～2018主題】

国際会長 ヘンリー・J・グリーンハイム 「Let us all Walk in the Light-Together」
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao 「Respect Y's Movement」
東日本区理事 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
あずさ部長 大野 貞次 「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東京武蔵野多摩会長 板村 哲也 「変化」

【クラブ役員】

会長 板村哲也
副会長 大輪匡史
宮内友弥
会計 山口直樹
書記 麻生由美子

2017年 7月の聖句

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(コリントの信徒への手紙二 5章17節)

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
- 2.ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
- 3.地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
- 4.宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
- 5.健全な交友関係を作り出す

7月例会プログラム

強調月間：キックオフ、YMCAサレバ、ASF、RBM
日時：7月12日(水) 19:00～21:00
場所：東京YMCA西東京コミュニティセンター
司会：伊佐 受付：野尻、大輪
ドライバー：野尻 記録：宮内
第一部(総会：19:00-20:00)
*開会点鐘(会長)
*ワイズソング(全員)
*夕食
*会長引継
*転入会式
司式：宮内
*16-17年度会計決算報告
*会長所信表明(板村)
*6月第二例会以降の出来事の報告
*YMCA報告
*ハッピー・バースデー
*閉会点鐘(会長)

6月例会報告

在籍者	13名
出席者	10名
メーキャップ	0名
出席率	77%
ゲスト	5名
ビジター	0名
ネット・コメント	0名
にこにこ	8,000円

「変化」

板村 哲也



人類の歴史は5～6百万年。人類以前に強大な勢力をもち、2億年近く(2億5000万年前～6550万年前)地球を支配してきた恐竜が或る時期に突然姿を消した。巨大隕石(直径180km)がメキシコのユカタン半島に衝突し、そのエネルギーで巻き上がった粉塵や火災による煙が地球全体を覆い、地球の環境が激変。気候や植生、食物連鎖に大変動が生じ、体が大きく大食漢の恐竜はこの環境の変化の耐えられず滅びた、というのが最も有力な学説。生き残ったのは環境に適応できた小動物や昆虫だった。大きい、多い、強い、世界(業界)No.1、ということが、生き延びること、繁栄することの条件ではない。環境の変化に適応できるか否かが存続できるかどうかを分ける。人も同じ。卑近な例では、極寒の極地や灼熱の砂漠に何の準備もなく行って耐えられるであろうか。海拔0(ゼロ)メートルからいきなり高度4300メートルの高地に移動して体が耐えられるだろうか。現代ではIT技術や通信技術の進歩について行けない人は社会活動の中で淘汰されてゆく。組織も生きている以上同じ。環境変化への適応を誤れば存続できない。

環境は時代とともに常に変化している。諸行無常。時間とともに社会が変わり、人とその考えや行動様式も変化する。自分が生きてきた過去30年、あるいは50年という短い過去を振り返ってみても、個人の考え方、生活スタイル、好みが多様化し、社会や制度が変わったことがよく分かる。時代と環境の変化への対応ができず、姿を消したり、経営破綻した超一流企業はいくらでもある。存続のためには変化について行くのでは手遅れ。変化を先取りして対策を講じて行く必要がある。自らが変化、進化して行く必要がある。変化しないのは論外、滅亡するのみ。

変化の先取りについて、今我々に見えている今後の(いや、既に始まっている)大きな変化とは何であろうか。科学技術の進歩、地球温暖化などもあろうが、日本の人口の減少と高齢化である。

(2015年の人口1億2709万人が、2053年に1億人割れ、2065年には3割減の8808万人。生産年齢人口は7728万人から50年後に4529

万人と4割減少。)これに伴い多くのことが日本で変化するし、変化しなければならない。年金制度、社会福祉制度、医療制度など人口が直接大きな影響を及ぼす分野では対策が叫ばれ、実施されつつあるが、企業やその他組織でも変化の先取りの必要性は同じである。Y'sもその例外ではないと考える。

どんな時代になっても生き残れるY'sに、仕組みや制度を変えなければいけないのではない。いいところだけ、楽しいことだけを近視眼的に議論して、内包する問題(目的、魅力、組織、時間、労力、金、...)に目を向けず放置し続け、血が流れる厳しいテーマに立ち向かわず、改革を先送りしては、Y'sに明日は無いのではない。30年後にはアメリカやイギリスのY'sと同じような末路を辿るのではないかと思う。

Y's全体やクラブの抱える問題については昨年度にクラブ内で「Y'sの在り方を考える」と題して、Y'sの現状と問題点につき議論を重ね、そこで膨大な量の問題点が指摘された。これらの問題点は一朝一夕に、また我がクラブだけで解決できるものではない。Y'sメンバーの一人一人が真摯に向き合い、地道な努力をして行かねばならないと思う。その際、次を心構えとしたい。

- ・まず、現状とその問題点をよく認識する。問題意識がないと何も始まらない。
- ・YTTで考える。(Y=Yesterday=過去、T=Today=現在、T=Tomorrow=将来)
- ・「それはなぜ？」を連鎖的に繰り返す。「それしかないのか？」を連鎖的に繰り返す。
- ・時代・環境の変化を先取りする。中長期を見据えて先手を打つ。
- ・過去にとらわれない。これまでの延長線上や現在の組織や活動の枠組みの中だけでは考えない(パラダイムを設けない)。自由に考える。
- ・Y'sをY'sの立場・内側から見るのではなく、外側から見る。(内と外で考える)(Y'sの価値の評価は外部が行うもの。)
- ・問題を個々の事象で捉えない。事象の裏に隠れている本質で捉える。本質を変えないと問題は解決しない。
- ・活動のエネルギー(力)のベクトル(大きさと方向)を外向き(世間一般向け)に大きくする。
- ・生産性、効率の向上を図る。
- ・将来目指すものを達成するためには、これまでと異なったY'sになる・する位の覚悟を持って考える。(現状肯定、体制維持では変化に対応できない。)

以上

2017年6月例会報告

1. 日時：2016年6月14日(水) 19:00~21:00
2. 場所：東京YMCA西東京コミュニティーセンター
3. 司会：伊佐 / 受付：麻生
4. ドライバー：野尻
5. 出席：メンバー：11名 / ビジター3名(浅羽、中村、江夏) / ゲスト0名。計14名。
6. プログラム

(1)始めに

故笠利和彦ワイズ(6月6日逝去)に黙祷。

(2)2016年度総会(19:05~19:55)

議長：山口

出席：メンバー9名。

議事：①2016-2017年度活動報告(山口)：承認

②2016-2017年度決算(6月14日現在)暫定報告(宮内)：

最終決算内容については、年度終了後、監査を経て、7月の第一例会に改めて付議。

③2017-2018年度事業(活動)計画(板村)：承認

④2017-2018予算案(山口)：承認

(3)食事・諸連絡・打ち合わせ(20:00~20:30)

ブリテン7月号、YMCA会員芸術祭、笠利さんお別れ会、原村合同例会、西東京ファミリーフェスティバル準備会、その他。

(4)鈴木誠さん入会式(20:30~21:00)

司会：山口 / 司式：宮内 / 出席者：計13名 / 立合：浅羽部長、中村氏(東京山手クラブ)

7. 懇親会(21:10~23:00)

例会後、有志にて近所の和食店にて。

(板村哲也)

今月の Happy birthday

- 1日 石丸さん
- 27日 清水さんメネット

Y'sメンズクラブ入会にあたって

鈴木誠



今回、6月に入会させて頂いた鈴木です。

幼稚園入園時から国立に住み、大学を出るまで家から通いの生活でした。大学を出て製薬会社に入社後は、営業一筋に東京多摩地区、神奈川県、静岡県で働き、新人で入社以来64才まで、社名は変わっても同じ会社で勤めて参りました。

仕事は、先生方に自社製品の紹介、採用をお願いしたり、実績アップの他に薬の安全情報等を伝える業務をしていました。結婚後、単身赴任は静岡県で25年以上に亘り、退職後国立に戻り家事に専念、68歳になります。

YMCAについては、キリスト教の団体で自分には全く関係ないと思っていました。また、YMCAの活動を支援することを目的とするY'sメンズクラブがある事も全く知りませんでした。今回、会社在职中に大変お世話になった先輩と数十年ぶりに会って、気がついたら、例会に参加していたという次第です。(笑)

数回ビジターとして参加し、自分の仕事しか知らない自分がいろいろな職種の方々とめぐり会う機会を得たことは、何かの縁と考えております。

私を生暖かく迎えて頂いた皆さんに感謝すると共に、早く少しでもお役に立てる様、頑張りたいと思っています。

会長所信表明

板村哲也

1. 抱負

Y'sに日が浅い身で僭越だが、Y'sの将来に危機を感じている。

環境は常に変化する。環境の変化に適応しないもの（自分が変化しないもの）は衰退、滅亡するのみ。人も組織も同じ。大きい、強い、立派、崇高、業界No.1といったこととは関係ない。

中長期を見据えて変化を先取りして行きたい。その中で改善ではなく改革が必要なこともあるかと思う。

Y'sの良いものを残しつつも自ら変わって行く勇気を持ちたい。

2. 重点目標

(1) 活動内容

- ・会員増強(3名)
- ・東京YMCA西東京コミュニティーセンター（以下「西センター」）支援、協働
- ・地域社会への働きかけ、新しい奉仕活動の発掘
- ・対外広報（メンバー一人一人が広報活動）、Y'sをPR、情報発信
- ・Y'sの在り方について考える（継続）

(2) 意識改革

- ・時代・環境の変化の先取り。中長期を見据えて先手を打つ。
- ・過去にとらわれない。これまでの延長線上、今の枠組みの中だけでは考えない。自由に考える。
- ・外部の目でY'sとクラブを見る
- ・事象で捉えず本質で捉える
- ・活動のエネルギー(力)のベクトル（大きさと方向）を外向きに大きくする
- ・生産性、効率の向上を図る

3. 事業・行事（予定）

- ・西センター支援（ファミリーフェスティバル、ファミリークリスマス、募金、くにたちさくら祭、リーダー懇親会、その他）
- ・他クラブとの交流、他クラブ例会に出席（松本クラブとの合同例会、富士山例会参加、その他）
- ・東京YMCA活動への参加（会員芸術祭、夏祭り、チャリティーラン、その他）
- ・新規活動（健康増進カフェ共催、支援を必要としている人たちへ目を向け案件発掘）
- ・対外広報・PR活動（Y's外へ）

4. その他

- ・当クラブ独自で変えられるものから変えて行く
- ・当クラブの宮内ワイズの理事年度に向けてクラブ内の体制を固める

第20回東日本区大会に参加して

渡辺 大輔

6月3～4日、ウェスタ川越にて行われた第20回東日本区大会へ東京武蔵野多摩クラブからは伊佐、板村、宮内、宮内メネット、山口、渡辺、出沼が参加しました。2日に行われた前夜祭には、板村、宮内、山口の3名が参加。3日午前の担当主事会へは出沼、ユースの会へは渡辺、代議員会へは宮内、山口が参加しました。今回は「温故知人」をテーマに、東日本区から425名（埼玉YMCAボランティアリーダーを含）が参加しました。

ワイズメンズクラブが東西に別れて20年目の節目と言うこともあり20に関わる様々な催しがあり、基調講演では千葉県の私鉄のいすみ鉄道の社長の鳥塚亮さんがお話しをされ、マイナーなローカル鉄道線をどう魅力的なものにするかを面白おかしくお話しいただきました。メンバー減少傾向にあるワイズメンズクラブにも通ずることのあるお話だったのではないのでしょうか。

晩餐会も同じウェスタ川越内で行われ、地元川越名産のコエドビールが振る舞われました。第21回大会のアピール（6月2～3日、沼津）も行われました。

また、私の参加したユースの会には17名（ユース7名）が集まり、熱い意見交換が行われました。区大会に合わせて、この夏タイで行われるAYCの第2回オリエンテーションも行われAYCに推薦された（6名中）4名も参加しました。

最後の数回、実行委員会へお手伝いとして参加させていただきましたが、一人一人が主体的に活躍しており、近隣のクラブの協力で大きなことを成し遂げ、いろいろと大変勉強になりました。



西日本区大会に参加して

宮内 友弥

第20回西日本区大会が6月10日(土)～11日(日)にかけて熊本にて開催された。初日の10日は菊池市文化会館を会場に12:45からのオープニングセレモニー、バナーセレモニー、その後来賓挨拶、理事挨拶・年次報告・代議員会報告・部長報告・メモリアルアワーと続き、16:30閉会。夜は、熊本市「ホテル日航熊本」に会場を移し19:00から晩餐会が行われた。

2日目は8:00からの聖日礼拝に始まり、各種表彰・理事引き継ぎ式・役員引き継ぎ式・次期理事所信表明が行われ11:10閉会。

今大会の出席者は、約750名で西日本区の勢いとワイズに対する情熱を身を以て実感させられた。また各種表彰では、手際良くスマートな進行が印象的であった。東日本区からの参加者は、45名。

7～8月の予定

7月

- ・12日(水) 第一例会(西東京センター)
- ・15日(土) あずさ部評議会(松本)
笠利さんお別れ会(三鷹)
- ・19～23日 アジア太平洋地域1-31開催
- ・21～23日 アジア太平洋地域(チェンマイ)
- ・20日(木) 東京YMCA午餐会
西東京フェスティバル打ち合わせ
- ・26日(水) 第二例会(西東京センター)
- ・29～30日 8月第一例会(8月例会は原村例会のため変則的です。)

8月

- ・23日(水) 第二例会(西東京センター)
- ・26日(土) 東京YMCA夏祭り

9月

- ・8～10日 YVLF(山中湖センター)
- ・13日(水) 第一例会
- ・23日(土) チャリティーラン(木場公園)
- ・27日(水) 第二例会(西東京センター)